

高い品質でより安全、安心と真心をお客様に提供

基本情報

代表者	工藤 祐之
業種	清涼飲料製造業
創業	昭和26年11月23日
資本金	17,000万円
従業員数	190人(社員141名)
売上高	73億円(平成25年度)
所在地	北海道岩内郡岩内町字野東22番地3
電話	0135-62-1001
URL	http://www.nichiasu.co.jp/index2.html



企業概要・背景

- ・昭和26年に岩内町でアスパラガス缶詰工場として創業し、昭和55年から清涼飲料製造業に転換を図り多品種にわたる清涼飲料水のOEM製造ボトリングをおこなっており、現在、道内シェア第2位となっています。
- ・アスパラガスを日本で初めて作ることに成功したのは、岩内町出身の下田喜久三博士。冷害で大きな被害を受けていた農家の状況を憂い、大正2年から研究に取組み、欧米から種子を取り寄せ試験栽培を続けた結果、大正11年に、新品種を開発して翌年から大規模な栽培を始め、周辺農家にも作ることを勧めました。
- ・大正13年に岩内町に「日本アスパラガス株式会社」を創設して、缶詰の生産を開始。やがてこの缶詰は高い評価を得て、輸出できるまでに成り、下田喜久三は初代社長として栽培から缶詰の企業化生産に成功したことは、東洋におけるアスパラガス産業の初めであり、今日まで、下田博士の意思を引継ぎ「高い品質でより安全・安心と真心をお客様に提供し続ける」を信条としています。

企業の強みや特色

- ・アスパラガス缶詰製法を基に、他の農産品、魚類、畜肉、果実、野菜などへの缶詰生産も可能であり、昭和50年代から本格的に清涼飲料が全国で生産されることになった際も、いち早く、果汁、コーヒー、牛乳、お茶、アルコール飲料の対応を可能にしました。
- ・OEM生産では、どのような品種、製法であっても、工場で生産可能なラインに組み換え、生産できる高い技術を併せ持っています。道内で消費される清涼飲料を、弊社で製造することにより、地産地消が可能であり、本州からの輸送コストが削減されます。

主要製品・サービスの特徴(先進性・独創性等)

- 大手ブランド・オーナーの清涼飲料水各種
 - ・缶飲料(コーヒー飲料、乳飲料、炭酸飲料、茶飲料、果汁飲料、スポーツ飲料、アルコール飲料)
 - ・ボトル飲料(コーヒー飲料、炭酸乳飲料、炭酸飲料、茶飲料、果汁飲料、スポーツ飲料)
 - ・ペット飲料(コーヒー飲料、炭酸乳飲料、炭酸飲料、茶飲料、果汁飲料、スポーツ飲料)
- 会社の重要課題としてエネルギーコストの削減を掲げ、2014年7月の、千歳アセブティック工場の竣工に伴い、最新型のエネルギー削減機械を導入することにより、従来の約半分のエネルギーコストで製品を作ることができます。

表彰・支援・承認等の状況

- H22 温室効果ガス排出削減支援事業費補助金(NED)
- H23 省エネルギー・新エネルギー促進大賞(北海道)
 - 〃 北国の省エネ・新エネ大賞(北海道経済産業局)
- H24 エネルギー使用合理化事業者支援補助金(都市ガス振興センター)
- H25 先端設備投資事業補助金(先端設備投資促進事業)

今後の展望(代表者の思い)

- ・清涼飲料水の道外製造品を、弊社で取り込み、製造数量を伸ばしていきたい。そのためには、弊社の食の安全をアピールする展開(ISO9001、FSSC22000、最新悦の先端技術など)をして顧客満足度を勝ち取りたいと思います。

